

「科学・公民」教育としての気候市民会議プログラムの開発プロジェクト
ワークショップ「気候市民会議の多様な開催を考える」
2023年9月1日 大阪大学中之島センター

気候市民会議とは何か

北海道大学

三上 直之

(環境社会学/科学技術社会論)



話題提供のポイント

- ① 気候市民会議とは？
- ② 欧州と日本におけるその動向
- ③ なぜ無作為選出型の気候市民会議なのか？
- ④ 気候市民会議のインパクトを高める鍵

気候市民会議とは何か

だれが？ 社会の縮図となるように無作為に選ばれた数十人～百数十人の参加者が

どのように？ バランスのとれた情報提供を受けて、参加者主体でじっくりと議論し

何をする？ 議論の結果を提言などの形でとりまとめる

何のために？ とりまとめた結果は、脱炭素社会の実現に向けた効果的な政策・対策を生み出すために活用する

ミニ・パブリックス = 無作為選出型の市民会議

= 社会全体の縮図となる参加者を集めて議論を行い、結果を政策決定などに用いる市民参加の方法（OECD（経済協力開発機構）Open Government Unit 2023）。気候市民会議はこのミニ・パブリックスのやり方を気候変動対策に応用したもの

表 2-1 ミニ・パブリックスの代表的な手法

	計画細胞会議	市民陪審	コンセンサス会議	討論型世論調査(DP)	市民議会	市民討議会
発祥地(年)	ドイツ(1973)	米国(1974)	デンマーク(1987)	米国(1988)	カナダ(2004)	日本(2005)
人数	100-500人	12-26人	10-25人	100-500人	100-160人	20-50人
日程	4-5日	4-5日	7-8日	2-3日	20-30日	1-4日
参加者の選出方法	無作為抽出	無作為抽出	無作為抽出+公募	無作為抽出	無作為抽出+公募	無作為抽出
結果のまとめ方	投票と参加者による意見書作成	参加者による意見書作成	参加者による意見書作成	参加者への質問票調査	詳細な提言・勧告	会議中に出されたアイデアへの投票

出典：C. Harris (2019) "Mini-publics: design Choices and legitimacy", S. Elstub and O. Escobar eds. *Handbook of Democratic Innovation and Governance*, Edward Elgar, pp. 45-59 をもとに、一部、篠原一編(2012)『討議デモクラシーの挑戦——ミニ・パブリックスが拓く新しい政治』(岩波書店)の情報も加えて筆者作成。

出典：三上 (2022) p.50

欧州における広がり

- 2019年頃から欧州の国や自治体で広がり始める。
- 国レベルでの会議もすでに少なくとも12カ国で開催。
- 自治体レベルでの会議は、英国を中心にさらに多数開かれている。

国レベルの気候市民会議

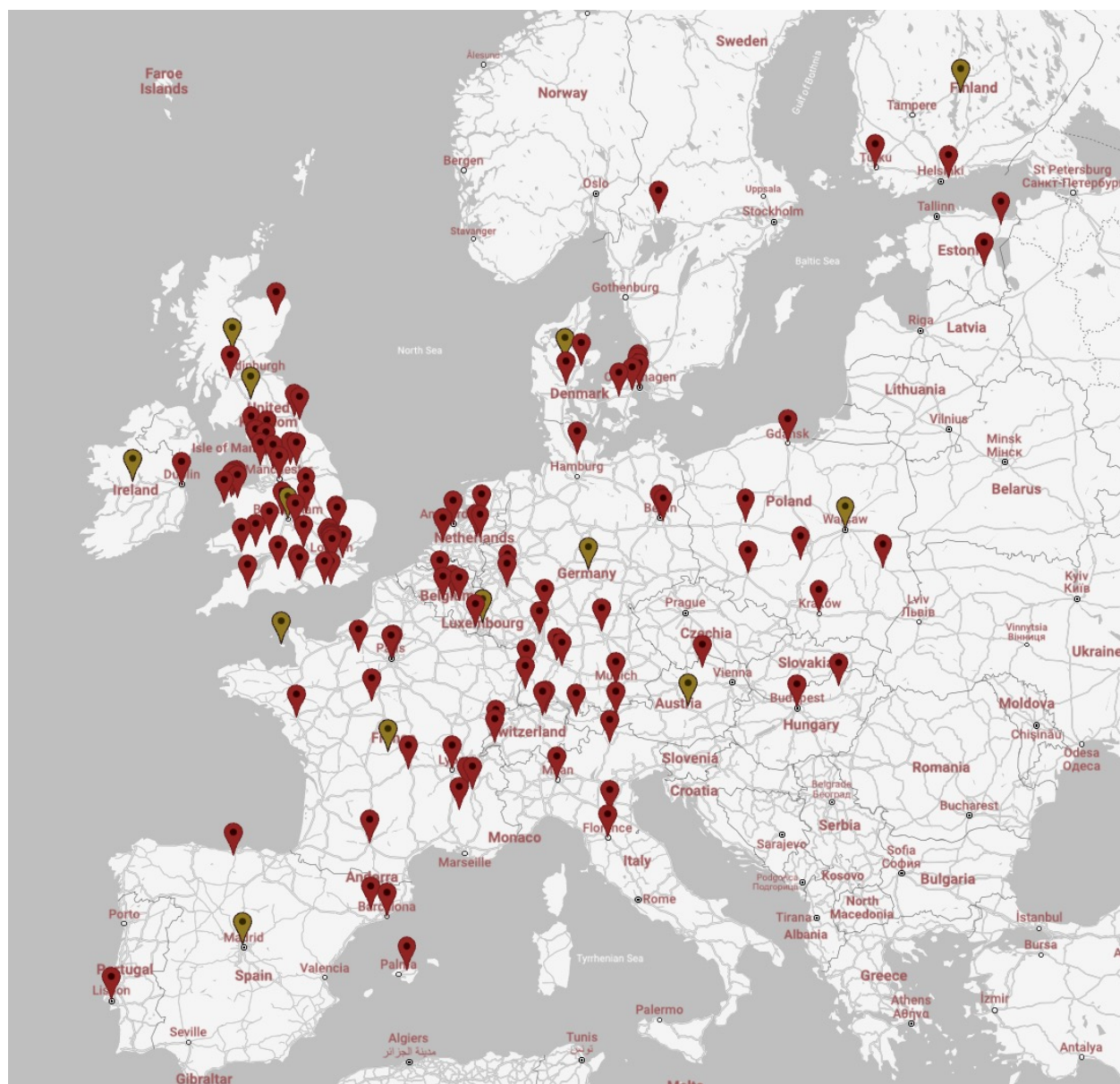


自治体/地域レベルの気候市民会議



出典：KNOCAウェブサイト
Map of Climate Assemblies

<https://knoca.eu/map-of-national-assemblies/>



【事例】フランスの気候市民会議

La Convention Citoyenne pour le Climat

- 2018年秋に起こった燃料税引き上げへの反発を契機に、NGOなどの提案を受けて、マクロン大統領が主導して政府が主催
- 全国から無作為抽出された150人が、2019年10月～20年6月の7回の週末に議論
- 温室効果ガス排出量の表示を、店舗や消費の場所、商品ブランドの広告などで義務づけ▽2025年以降、排出量の多い新車の販売を禁止▽代替可能な低炭素の交通機関が存在する飛行機の国内線を段階的に整理▽2030年までに、新築・改築の建築物で石油および石炭ボイラーの撤去を義務化、など、149の提言を提出
- 提言に基づく「気候とレジリエンス法案」が議会審議に付され、2021年夏に成立



気候市民会議の参加者と会談するマクロン大統領
<https://youtu.be/G0rhjLeTEjw>

【事例】気候市民会議さっぽろ2020



3つの論点

- ①脱炭素社会の将来像 (ビジョンと実現時期)
- ②省エネルギーと再生可能エネルギーの導入拡大
- ③移動と都市づくり、ライフスタイルの転換

- 趣旨：科研費*による共同研究の一環として気候市民会議を国内で初めて試行（協力：札幌市、北海道環境財団、RCE北海道道央圏協議会、後援：道、環境省北海道地方環境事務所）
- 議題：札幌市における「2050年CO2排出実質ゼロ」目標の達成方策を議題に
- 日程：2020年11月8日～12月20日に4回（日曜午後）に完全オンラインで開催
- 参加者：16歳以上の市民20名を2段無作為抽出（男性12名、女性8名；10代(4名)～70代）
- 結果の活用：札幌市の新しい気候変動対策行動計画（2021年春策定）などの施策に活用するため、今年1月に結果を市に正式に報告。さらに3月に詳細な報告書をまとめて公表し、札幌市担当者や関係者も交えて議論

*科研費基盤研究(B)「公正な脱炭素化に資する気候市民会議のデザイン」(20H04387)



札幌市気候変動
対策行動計画

気候市民会議さっぽろ2020の流れ

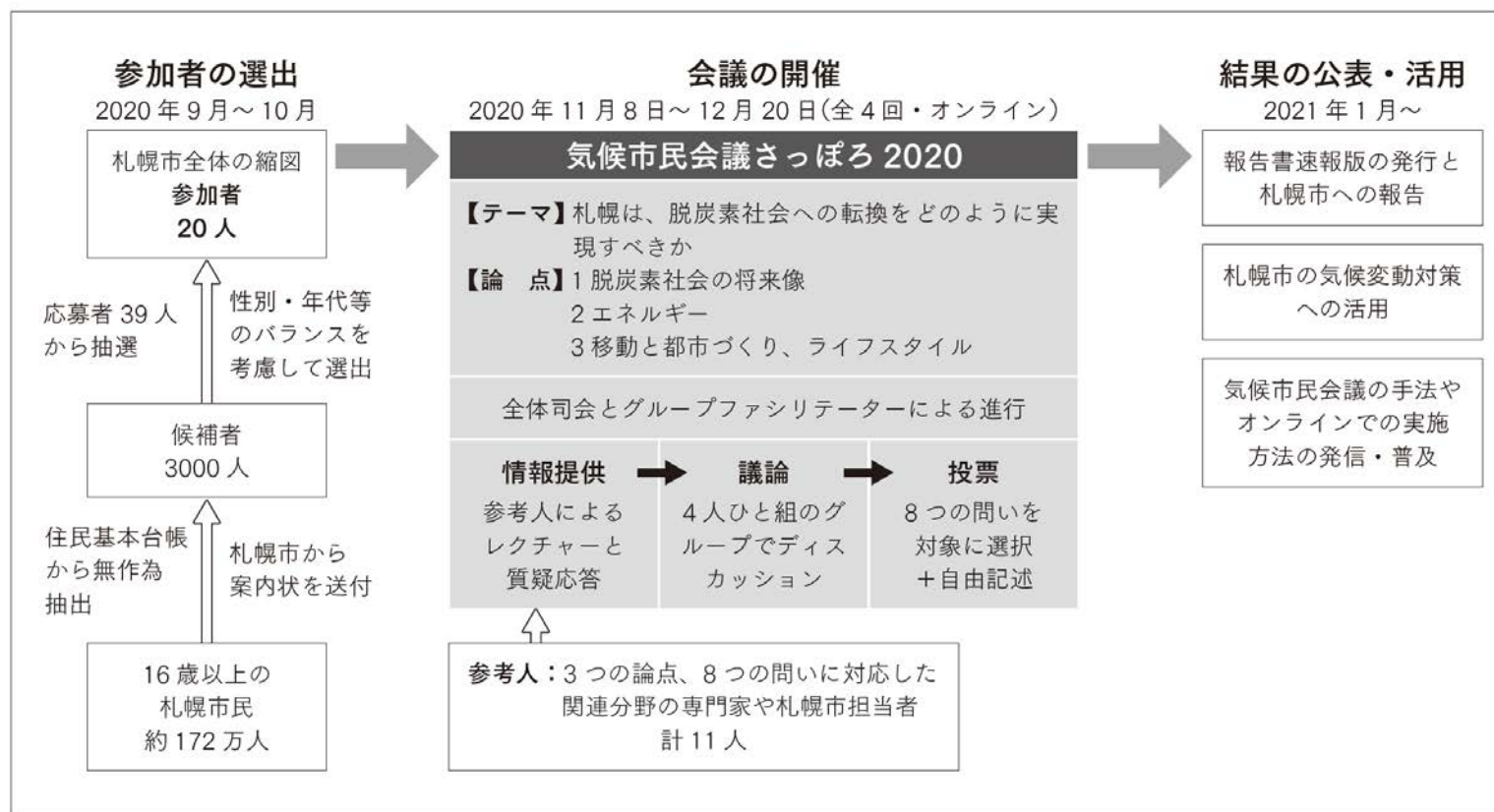


図 1-2 会議全体の流れ



全体テーマと3つの論点

テーマ：札幌は、脱炭素社会への転換をどのように実現すべきか？

論点	内容
【論点1】 脱炭素社会の将来像	温室効果ガス排出実質ゼロを実現した札幌は、具体的にどのような姿に生まれ変わっているべきか？ どのような方針やスピードで、何を大事にしつつ、その変化を実現していくべきか？
【論点2】 変革の道なり① エネルギー	住宅や事業所でのエネルギー利用による排出をゼロにするため、省エネルギーや、再生可能エネルギーの導入拡大などの対策を、どのように進めるべきか？
【論点3】 変革の道なり② 移動と都市づくり、 ライフスタイル	交通手段のゼロエミッション化や、脱炭素型の都市づくりなどの対策を、どのように進めるべきか？ 脱炭素型のライフスタイル、ワークスタイルへの転換を促すため、どのようなしくみや取り組みが必要か？

会議の進め方



情報提供

参考人レクチャーなど



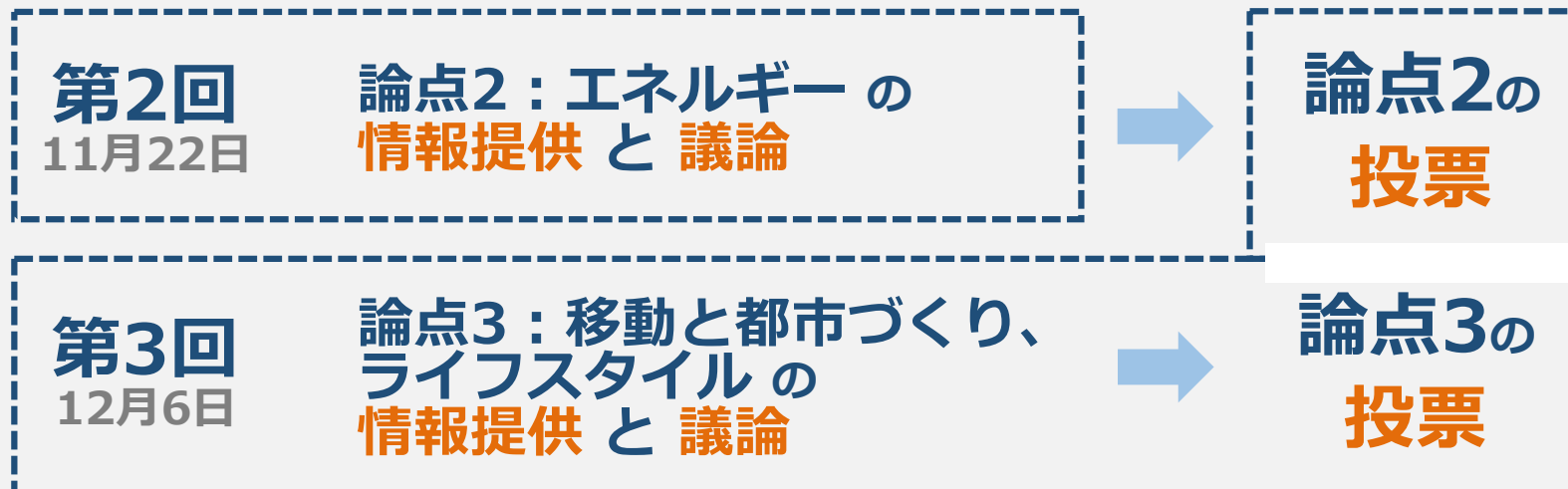
議論

グループディスカッションなど



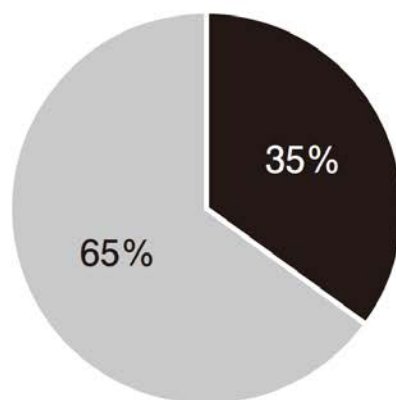
投票

「問い」を対象に



会議結果の例 実質ゼロ実現の時期

- 約3分の1（20人中7人）の参加者は、札幌市が現在掲げる2050年よりも早い時期に、温室効果ガス排出実質ゼロを達成する可能性を追求すべき、との考えを示した



実現の時期	(人)
(A) 2050年よりも早い時期に、排出実質ゼロを達成する可能性を追求すべき	7
(B) 2050年に排出実ゼロを達成するという、現在の目標のままでよい	13

■(A) 2050年よりも早い時期 ■(B) 2050年のままでよい

図 3-3-1 2050年よりも早い時期に温室効果ガスの排出実質ゼロを支持するか（全体の投票結果）

会議結果の例

脱炭素社会を実現した札幌の将来像

将来、脱炭素社会への転換を実現した札幌のまちでは、市民はどのような暮らしを送っているでしょうか。衣食住を始めとする家庭での生活や、仕事や学業の様子を中心に、都市施設・設備やそこで用いられている技術、社会制度、自然環境の状況なども含めて、**期待されるまちの姿と、その中でのライフスタイル**を自由にイメージしてください。

*投票には、参加者の意見をもとに作成した40項目の選択肢を使用（作成過程は『最終報告書』資料5として収録）

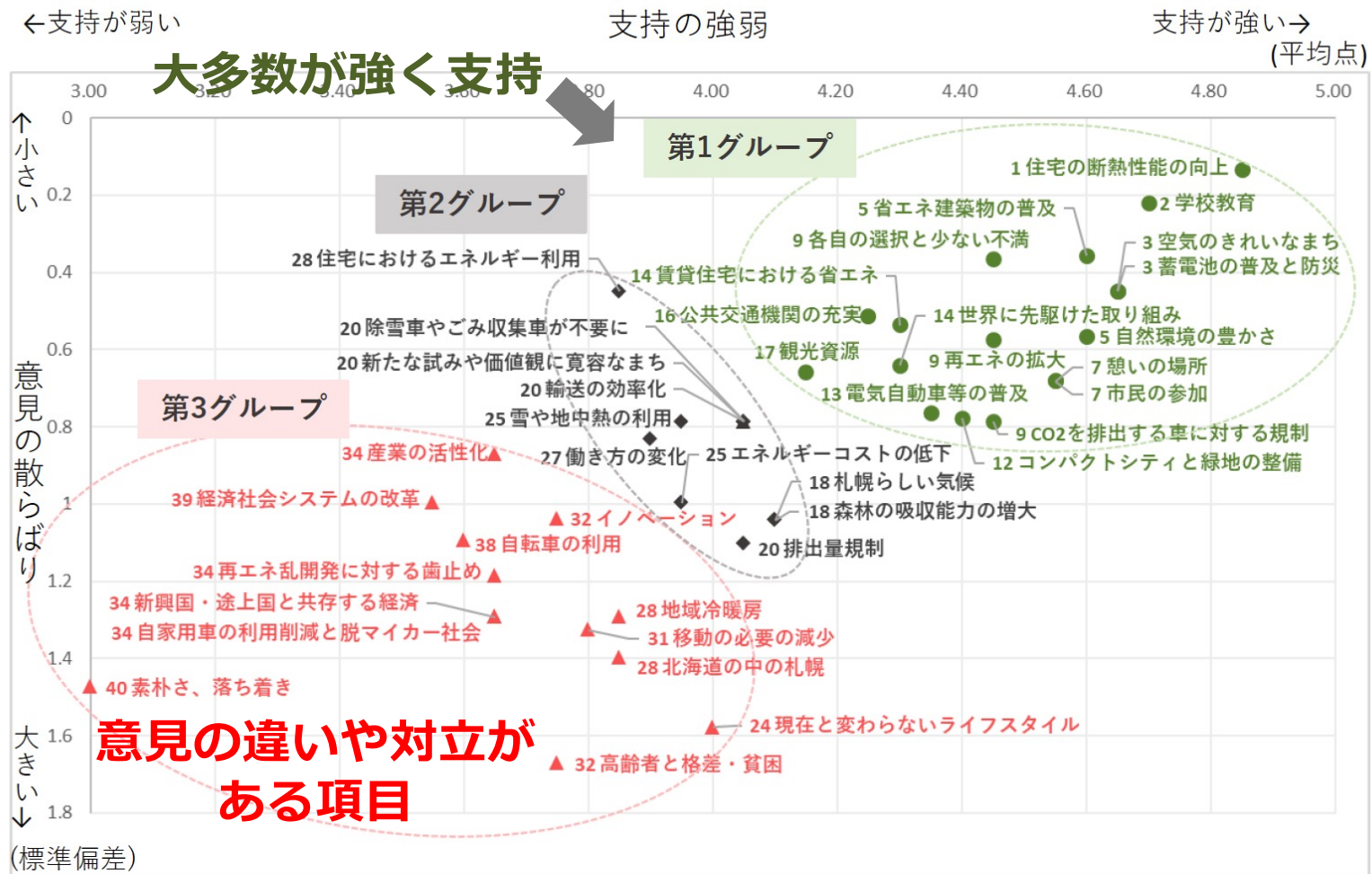


図3-1-1 参加者の意見に基づくビジョン項目のグループ分け (クラスタ分析)
(各項目に付した番号は、平均点の順位)

結果を分析して公表、札幌市にも提出



▲2021年1月25日、札幌市役所を訪問。佐藤博・環境局長（右）に速報版の報告書を手交し、結果を報告



『最終報告書』

<http://hdl.handle.net/2115/80604>



北海道新聞、朝日新聞、毎日新聞、NHKテレビ・ラジオ、TVh、FMドラマシティなどメディアでの紹介も多数

日本における開催状況

開催期間	開催地	会議名称	主催者	参加者数
2020年11月-12月	北海道札幌市	気候市民会議さっぽろ2020	実行委員会	20
2021年5月-10月	神奈川県川崎市	脱炭素かわさき市民会議	実行委員会	75
2022年7月-11月	東京都武蔵野市	武蔵野市気候市民会議	武蔵野市	68
2022年8月-11月	東京都江戸川区	えどがわ気候変動ミーティング	江戸川区	14
2022年8月-12月	埼玉県所沢市	マチごとゼロカーボン市民会議	所沢市	51
2023年5月-7月	東京都多摩市	多摩市気候市民会議	多摩市	45
2023年6月-11月	神奈川県厚木市	あつぎ気候市民会議	厚木市、実行委員会	50
2023年7月-12月	神奈川県逗子市・葉山町	かながわ気候市民会議in逗子・葉山	神奈川県、環境政策対話研究所、地球環境戦略研究機関	
2023年8月-12月	東京都日野市	日野市気候市民会議	日野市	40
2023年9月-12月	茨城県つくば市	気候市民会議つくば	実行委員会、つくば市、産業技術総合研究所、国立環境研究所、筑波大学	50

この他、横浜市青葉区、千葉県松戸市、宮城県仙台市、東京都杉並区などでも開催へ

目次

特集	新型コロナウイルスワクチン接種・予約情報	……2	
特集	TABETE・ジモティーと連携協定を結びました	……12	
コロナ関連	お知らせ講座	……3	
講座	募集	……5	
子ども	イベント	……6	
健康	スポーツ	……7	
ごみリサイクル	休日の医療機関	……9	
図書館	……11	コミュニティ	……11

武蔵野市ホームページ
<http://www.city.musashino.lg.jp/>



携帯電話版は末尾に m/ を。

令和4年11月3日に市制施行75周年を迎えるにあたり、市制施行75周年の歴史・発展の経緯にマークを記載しています。

発行 ● 武蔵野市 編集 / 総合政策部秘書広報課 〒180-8777 武蔵野市緑町2-2-28 代表電話 ☎0422-51-5131

東京都武蔵野市 「武蔵野市気候市民会議」

2022年7月～11月

気候市民会議の結果をもとに、市が「気候危機打開武蔵野市民活動プラン（仮称）」を策定へ

気になる地球温暖化 **あなたも気候変動問題の当事者に**

気候市民会議を開催します

近年、地球温暖化が原因とみられる異常気象が多発し、私たちの生活はその影響を受けています。“気候危機”と言われている今、市では2050年度までに温室効果ガスの排出を実質ゼロとする、「2050年ゼロカーボンシティ」を目指しています。2050年に向けて、私たちの暮らしの中でも、大きな転換が必要とされています。あらゆる人が気候変動問題の当事者としての「気づき」や「行動変容」を広めていくために、市では“気候市民会議”を開催し、地球温暖化（気候危機）問題に対する具体的な行動を示す“気候危機打開武蔵野市民活動プラン（仮称）”を作成します▶問：環境政策課環境啓発施設係 ☎60-1945

気候市民会議とは？

無作為抽出などによって選ばれた市民が、気候変動対策について話し合う会議です。その開催は欧州各国で広がりを見せており、日本国内でも開催されています。本市では、気候変動の現状に詳しい講師によるレクチャーを踏まえた上で、地球温暖化に対する目指すべきまちの姿や、一人ひとりの関心と行動を変えていくための取り組みについて市民目線で話し合います。



アンケートにご協力ください！

暮らしの中で、地球温暖化（気候危機）問題について考える場面や、行っている取り組みについてのアンケートを実施しています。市関連施設で配布しているほか、右記二次元コードからも回答できます。



気候市民会議スケジュール 場所 むさしのEcoReゾート

第1回 7月26日(火)午後6時

テーマ：地球温暖化の現状について、目指すべきまちの姿について



ゲストティーチャー
江守正多氏

東京大学未来ビジョン研究センター教授。専門は地球温暖化の将来予測とリスク論。IPCC第5次・第6次評価報告書の主執筆者。

◀武蔵野市の気候市民会議の参加者募集（「市報むさしの」2022年4月15日号）

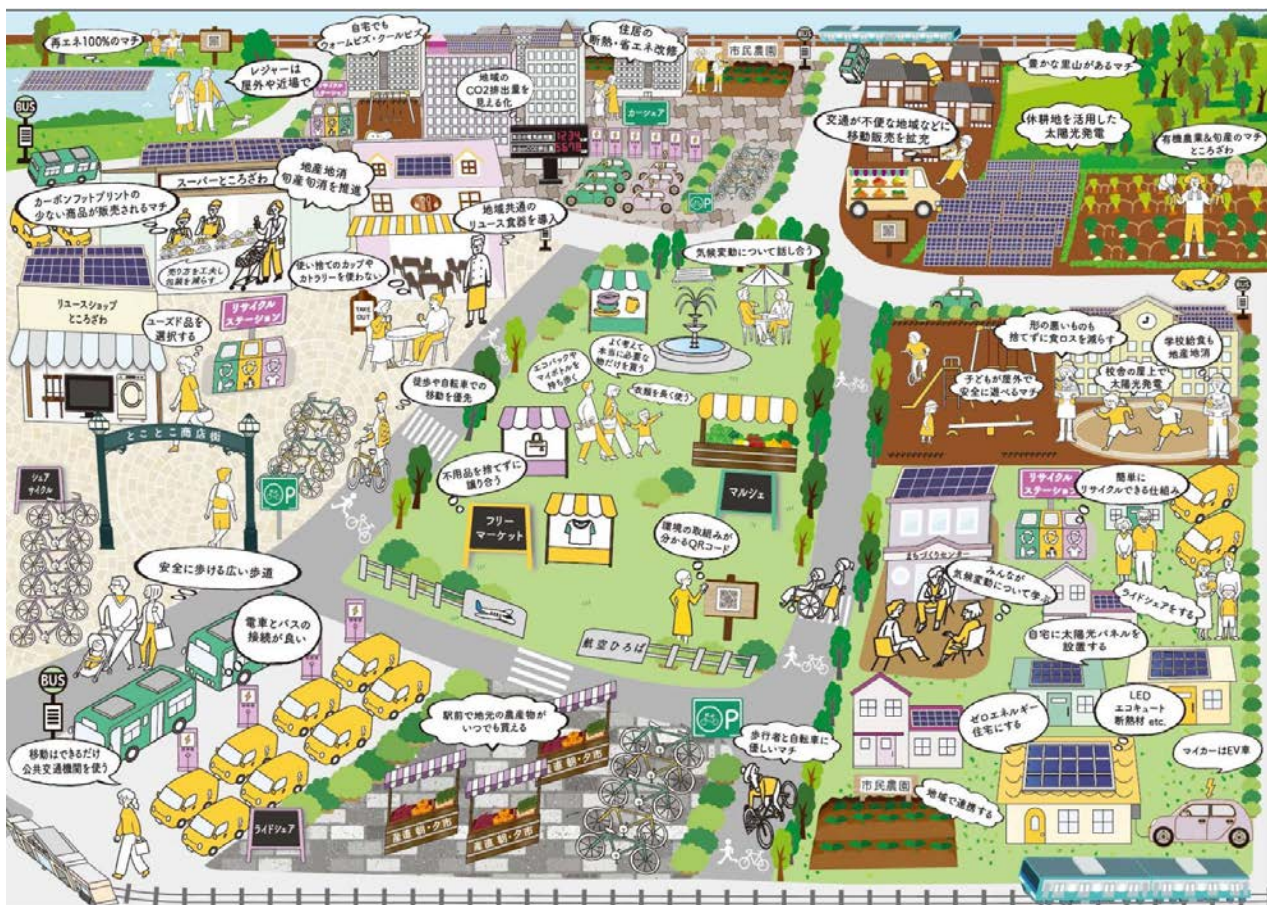
参加方法 環境問題やまちづくりについての特別な予備知識は必要ありません。お気軽にご応募ください。

※集合開催を予定しています。オンライン参加を希望の方は申し込み時にその旨を記入してください

封書が 必ず必要です

無作為抽出

公募枠



埼玉県所沢市「まちごとゼロカーボン市民会議」

2022年8月～12月

市民会議の結果を、市の環境基本計画の改定に活用

▲気候市民会議での議論をもとに作成された「所沢市の将来像」
 （「まちごとゼロカーボン市民会議 報告書」）

気候市民会議をめぐる情勢～欧州

- 西欧では、ほとんどの主要国でナショナルレベルの気候市民会議を開催済み。自治体レベルでの開催も、英国、ドイツ、フランスを中心に多数。
 - ナショナルレベルの気候市民会議の開催概要については、KNOCAのウェブサイト（<https://knoca.eu/national-climate-assemblies/>）にコンパクトにまとまっている。
- ベルギー ブリュッセル首都圏では気候市民会議が常設化。
- 経験の蓄積と企画設計のための手引きづくりが急速に進展（KNOCA 2023；三上 2023）。Key features of climate assembliesは気候市民会議を構成する19の要素を整理している（Smith 2022）。
→国内でも国立環境研究所・環境政策対話研究所が「基本設計整理表」を作成（環境政策対話研究所 2023）

気候市民会議の設計にあたって考慮すべき項目

- KNOCAによる「気候市民会議の鍵となる特徴（key features）」

<https://knoca.eu/key-features-of-climate-assemblies/>

- 「気候市民会議基本設計整理表」（環境政策対話研究所）

<https://doi.org/10.34462/002000004> でダウンロード可能

項目	内容
1 大目的	気候市民会議が目指す大きな目的
2 目的	気候市民会議の具体的な目的
3 討議テーマ	討議テーマの内容と、その決定プロセス・理由
4 主催者	気候市民会議の主催者
5 自治体の関わり	主催や協力など自治体の関わり方、気候市民会議の結果に対する自治体の対応（企画段階での約束など）
6 実施体制	運営責任者や参加者募集、ロジスティックス、会議設計・会議進行、情報提供などの役割分担と責任の所在
7 参加者	参加者数、参加者募集の対象範囲、参加者選出の際に考慮する属性（年齢、性別、学歴、収入、雇用、居住区、気候変動に対する考え方など）
8 ステークホルダーとの関わり	気候変動対策に強い関心を持つステークホルダーをどのように位置付けるか
9 参加を支える仕組み	参加者の継続参加を支援する仕組み（託児やバリアフリーサポート、謝金、オンラインでの参加、代替要員の確保など）
10 市民会議の時間数	情報提供や全体討議、グループディスカッションにどれぐらいの時間をかけるか
11 グループディスカッション	グループサイズやサポート体制、討議のプロセスなど
12 ファシリテーション	ファシリテーターが話し合いを先導するのか、参加者同士で話を進めるのか
13 議論の結果のとりまとめ方法	意見を整理し、議論を取りまとめるための方法（提言の草稿の作成者と意見調整のプロセス、投票の方法など）
14 最終提言・報告書	最終提言、報告書とそれらの執筆主体
15 情報公開	開催状況および結果の発信、傍聴、取材の受け入れ
16 一般市民の参加	気候市民会議の参加者以外の声をどのように取り上げるか
17 フォローアップ	気候市民会議終了後に参加者が提言内容についてフォローアップする機会
18 費用（金銭と労働）	予算の内訳や出所、人的資源としての自治体職員やボランティアなどの関与・協力など
19 事後評価	主催者による事後評価や、外部評価の体制

出所:「気候市民会議基本設計整理表(試用版2304)」から抜粋して筆者作成

気候市民会議をめぐる情勢～国内①

- 国内では札幌（2020年）、川崎（2021年）に続いて、2022年に東京都武蔵野市、埼玉県所沢市で行政が公式に主催。
- 2023年度は、東京都多摩市、神奈川県厚木市、東京都日野市、茨城県つくば市、神奈川県逗子市・葉山町、横浜市青葉区などで開催。東京都杉並区でも準備が進む。
- 主催者は行政単独や、市民団体との協働、研究機関やシンクタンクが深く関与するものなど多様。運営主体の独立性や、評価の可能性と合わせて、これ自体が一つの重要な研究課題か。
- 独立・中立な立場で運営を担いうる専門家集団の確保・育成も必要。

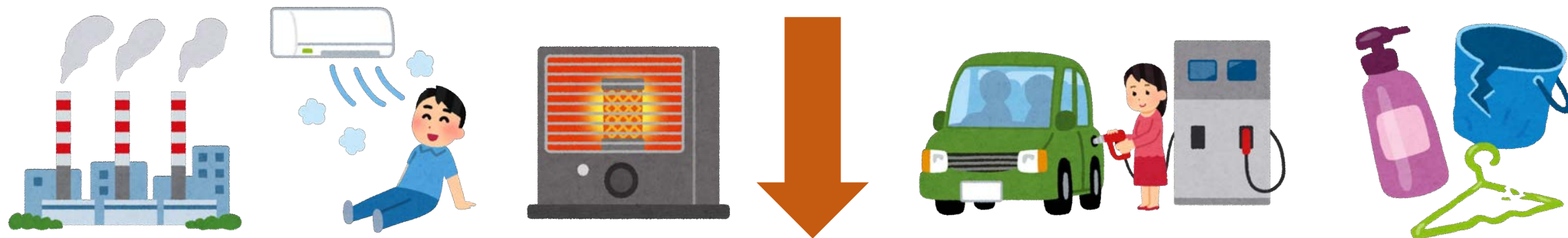
気候市民会議をめぐる情勢～国内②

- 気候市民会議が自治体の気候変動対策に関する政策決定や、地域での取り組みにどこまで本質的な影響力を持ちうるかは、これからの取り組み次第。
- 今後、自治体において公式に用いられていく過程で、どこまで意味のある変化を生み出さうる形でテーマ設定がなされ、政策との接続が確保されていくのかが課題。
- 日本では、もっぱら自治体、地域レベルでの脱炭素の議論のための手法として受容。この広がりを、ナショナルレベルでの「気候民主主義」の活性化にどうつなげられるかが大きな課題。

なぜ無作為選出型の市民会議なのか？

脱炭素社会への転換という課題の性格

- 脱炭素社会 = CO2など温室効果ガスの排出が実質ゼロの社会
- 今の私たちのライフスタイルでは、日々の暮らしや、仕事の中で、色々な所で温室効果ガスを排出せざるを得ない
- 脱炭素社会への転換は、すべての人の暮らしに関わる課題



どのように排出削減を実現するか

なぜ無作為選出型の市民会議なのか？

社会的な取り組みの必要性

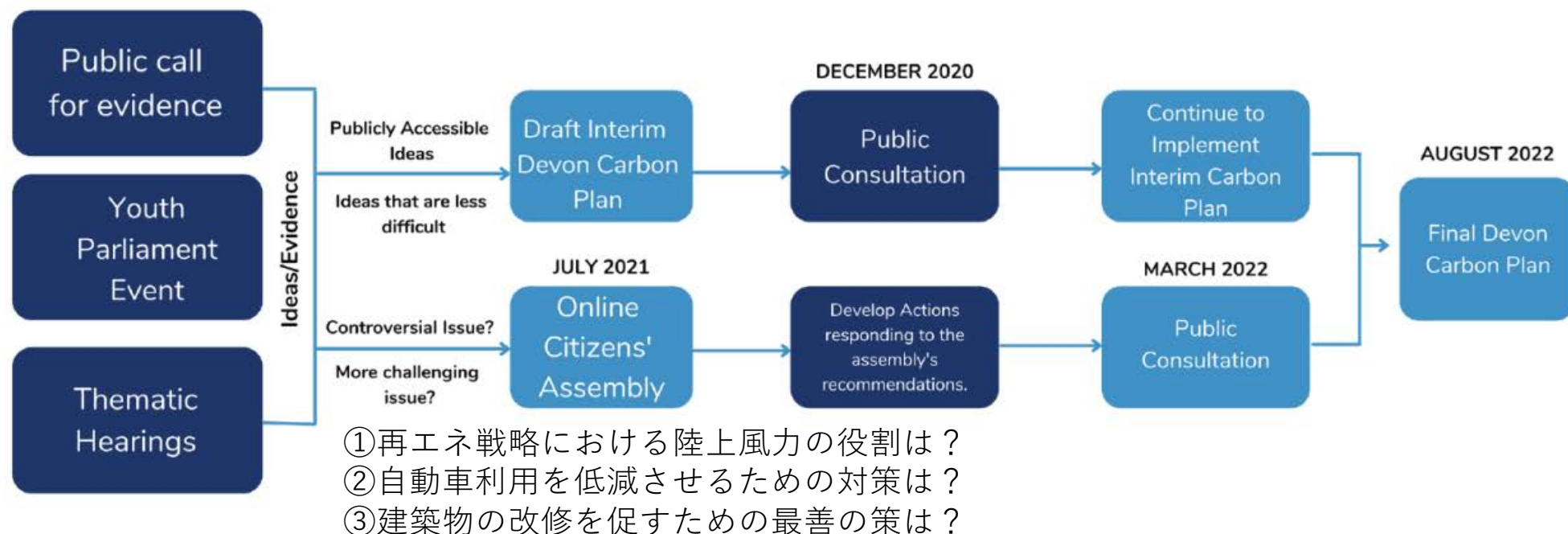
- (例)レジ袋有料化による、利用枚数の減少
=個人や組織の幅広い行動の変化をもたらすのに、**新たな社会的取り組み（政策など）が有効**であるという例
- 温室効果ガスの排出削減のために、他にどのような社会的取り組みが考えられるか
 - 自動車からのCO₂の例では……ガソリン車・ディーゼル車の販売に対する規制、電気自動車の購入への補助、公共交通機関の充実、自転車道や駐輪場の整備、リモートワークへの支援、など

なぜ無作為選出型の市民会議なのか？

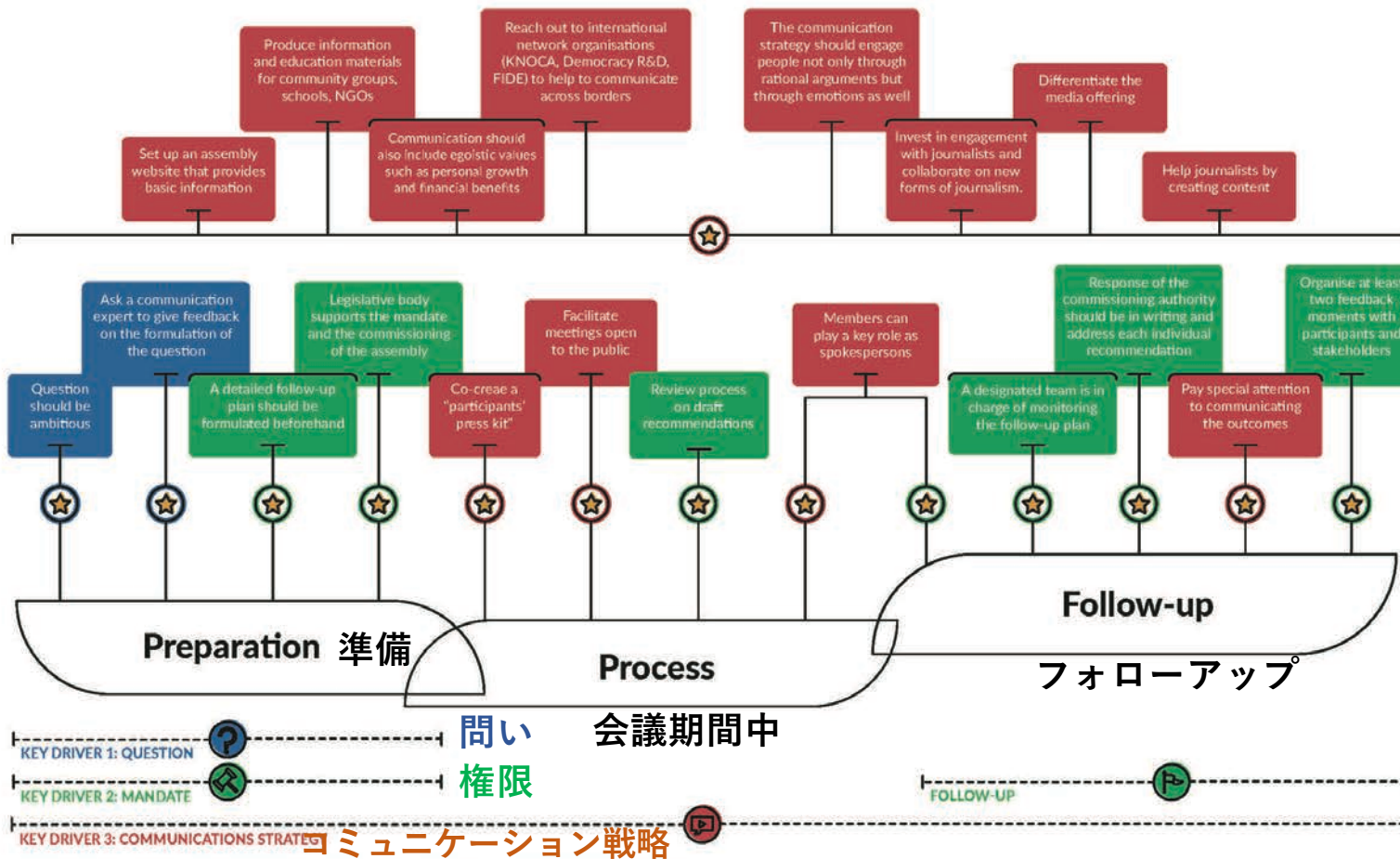
社会の縮図を作って話し合う理由

- さまざまな社会的取り組みがどれぐらいの削減効果につながるかは、**地域の事情、家庭や個人の置かれた状況によって異なる**
→ 専門家などが一律に「この政策がベスト」とは断言できない
- 異なる背景や経験を持つ多様な市民が集まり、問題について知り、**ともに考え、話し合うことで、実効性のある対策が生まれる**

気候市民会議から政策への活用まで 英国デヴォン州気候市民会議の例



出典：Report of the Public Consultation on our Response to the Devon Climate Assembly, p.3
<https://devonclimateemergency.org.uk/wp-content/uploads/2022/05/4.-DCA-Consultation-Report.pdf>



This graphic is not exhaustive: more recommendations can be found in the report of the same name on the KNOCA website.

KEY DRIVERS OF IMPACT
How to Unleash the Potential of Climate Assemblies

[https://knoca.eu/app/uploads/2022/06/KNOCA Key Drivers of Impact_graphic v4.pdf](https://knoca.eu/app/uploads/2022/06/KNOCA_Key_Drivers_of_Impact_graphic_v4.pdf)

インパクトを高める鍵：問い

- 政治的に、また市民にとっても重要性のある、野心的な問いを設定すること
- 問いの文章が、よりわかりやすく、魅力的で、訴求力のあるものになるように、広報やメディアの専門家のコメントを受けるようにする
- 幅広く漠然とした問いよりも、個別具体的な問いの方が望ましい。結果として、提言の数が絞られ、主催者（行政等）に対して明確な行動の指針を提供する結果になりやすい。報道関係者の関心も引きやすく報道されやすい

インパクトを高める鍵：権限

- 様々なステークホルダーとともに、気候市民会議の権限を明確に定める
- 提言に対して主催者（行政等）がいつ、どのように応答すべきかを定めたフォローアップの計画を事前に作成しておく
- 気候市民会議のメンバーが、主催者からの応答に対して公の場でコメントできる機会を設ける
- フォローアップ計画をモニターし、提言が政策に取り入れられたかのチェックを、なるべく主催者から独立した個人またはチームが行う

インパクトを高める鍵：コミュニケーション

- ウェブサイトを設けて基本的な情報を発信する
- 早い段階からメディアやコミュニケーションの専門家の参画を得る
- 結果の広報に特に力を入れること。また、フォローアップ計画についても触れるようにすること
- 参加者は、気候市民会議や気候変動の問題について関心を喚起する広報担当者の役割を担いうる
- SNSで共有しやすい形で情報発信する。期間全体を通して、インフルエンサーに気候市民会議に関する投稿をしてもらう
- 地域団体や学校、NGO/NPOなど向けに、会議についての情報資料を用意する

インパクトを幅広く捉える

• 政策的なインパクト (Policy impact)

- より確かで、正統性の高い、新たな気候変動対策の導入
- 気候変動に関する政策的な議論の深まり
- 政治家や行政関係者の気候変動問題に対する意見の変化 など



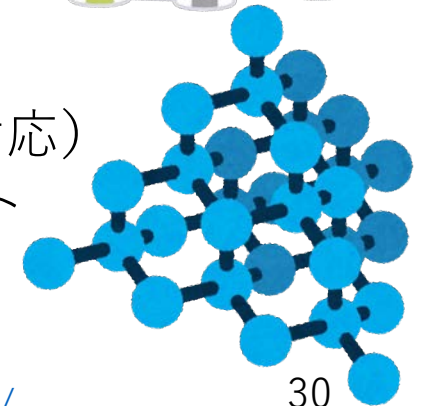
• 社会的なインパクト (Social impact)

- 気候変動や気候変動対策に関する社会的議論の充実
- 参加者の行動変容、人びとの意識の高まり
- 若い世代が気候変動や将来について意見表明する機会の増大 など



• 構造的なインパクト (Systemic impact)

- 政策決定システムの改善 (例: 長期視点での意思決定への対応)
- 若者やマイノリティを含む人びとの政治的なエンパワメント
- 民主主義のシステムや政治への信頼、 (政策決定者や市民自身から) 市民への信頼の増大 など



KNOCA “Key drivers of impact” を参照 <https://knoca.eu/key-drivers-of-impact/>

気候市民会議の広がりが意味するもの

脱炭素社会への転換を実現するには、民主主義のイノベーションも同時に起こす必要があるという考え方や、それに基づく実践（三上2022）



脱炭素社会
への転換

×

民主主義の
イノベーション

=

「気候民主主義」

参加や熟議をしたり、影響力を与えたりする機会を増やすことによって、ガバナンスにおける市民の役割を問い直し、広げるために編み出される、新たなプロセスや制度（例：政策決定へのミニ・パブリックスの活用）（Elstub & Escobar eds. 2019）

話題提供のポイント

- ① 気候市民会議とは？
- ② 欧州と日本におけるその動向
- ③ なぜ無作為選出型の気候市民会議なのか？
- ④ 気候市民会議のインパクトを高める鍵

背景となる主な研究
プロジェクトと実践

2017

基盤研究(B) 2017-19年度

地球規模かつ超長期の複合リスクのガバナンスにおけるミニ・パブリックスの役割

2018

2019

2019.3「脱炭素社会への
転換と生活の質」市民パネル

2020

基盤研究(B) 2020-22年度

公正な脱炭素化に資する
気候市民会議のデザイン

国際共同研究強化(A) 2019-22年度

脱炭素社会への転換と
民主主義の革新・深化
との統合的実現に関する
国際比較研究
(英・ニューカッスル大学)

2021

2022

2020.11-12「気候市民会議さっぽろ2020」

2023

基盤研究(B) 2023-25年度

「科学・公民」教育としての
気候市民会議プログラムの開発

基盤研究(A) 2023-26年度

気候民主主義の日本における
可能性と課題に関する研究

2024

2025

2026



世界289事例をふまえた ミニ・パブリックスの 実践的ガイドライン

代議制民主主義の限界が露呈するなか、無作為抽出による少人数グループが十分な専門的情報を得て熟議を行い、提言を策定して公共政策の検討過程へ反映させるミニ・パブリックスと呼ばれる取組みが拡大している。世界289事例の分析をふまえ、成功のための原則、既存の制度に熟議を埋め込む方法をまとめた初の活用ガイドライン。

OECD(経済協力開発機構)Open Government Unit 著
日本ミニ・パブリックス研究フォーラム 坂野達郎・篠藤明徳・田村哲樹・長野基・三上直之・前田洋枝・坂井亮太・竹内彩乃 訳

学芸出版社刊 2023年5月



文献

- Boswell, John, Rikki Dean, and Graham Smith (2022) “Integrating Citizen Deliberation into Climate Governance: Lessons on Robust Design from Six Climate Assemblies.” *Public Administration*.
- Elstub, S. & Escobar, O. *Handbook of Democratic Innovation and Governance*, Edward Elgar, 2019.
- OECD (経済協力開発機構) Open Government Unit (日本ミニ・パブリックス研究フォーラム訳) (2023) 『世界に学ぶミニ・パブリックス：くじ引きと熟議による民主主義のつくりかた』学芸出版社.
- 三上直之 (2022) 『気候民主主義：次世代の政治の動かし方』岩波書店.